



▲となりの車輦も意識して、グリッド線の中央よりほんの少し左寄りに車輦を置いて撮りました。車輦が2つとも水色と白を基調としたカラーの車体なので、統一された感じがまた良い雰囲気を出す写真となりました。(容道)

「めぐろう」を撮ったんです。

『めぐろうフォトギャラリー』

をご紹介します。

この編集員たちの個性が光る写真を

ご覧ください。

ることを体感し、なるほどと思えるものに

な条件によって、雰囲気さがらりと変わ

して中心をずらして持っているかなど色々

色や、上からの光りの加減、被写体に対

デザイン講座では、背景に持つてくる

めぐろう フォトギャラリー



▲ロコが見えるように向きに気をつけて、背景は黒にして目立つようにしました。(にこ)



▲背景の色と、まわりの明るさで雰囲気がぐっと変わりました。(唯英菜)



▲背景の色と合わせて、花や小物などを撮りました。(綾)

「中高生は頭が柔らかいなあ…、発想が違う！」
「愛情」が滲み出た写真が多く、感心しました。



▲グリッド線をつけることで、前より撮る物との位置が定まってきました。(里菜)



▲作品が美しく見えるように様々な小物の組み合わせを試して、背景の色を調節しました。(真之)

●同じ素材でも、組み合わせや配置を工夫することで作品の印象が大きく変わることを実感できました。(真之) ●写真講座を終えて、私が一番最初に感じたことは「写真を撮るにあたって、いろいろな技術が必要になるんだなあ」ということです。ひとくりに撮影といっても角度・距離・部屋の明るさによっても写真の雰囲気は変わってしまいます。(優菜)

次のページからは写真講座に参加した私たち「めぐろう」編集員が、企画から編集までを手がけました。最後までお楽しみください。(優菜)

「この写真で何を伝えたいか」を考えながら撮ると、相手に伝わる写真を撮ることができます。

撮影する人の「かわいい!」「美味しそう!」「おいしい!」という気持ちは伝わるよ。どんどんシャッターを切ろう!!

小川 雅代 先生の プロフィール



東京都江東区出身、市川市在住。「ぶらすいろ」主宰。趣味は映画鑑賞。着飾る写真よりもその方のそのまの魅力が伝えられる写真を撮り続けたいと思っています。